



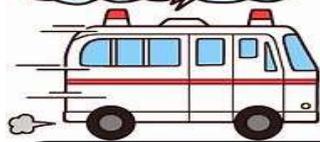
看護師
徳永

8月30日～9月5日は防災週間です。園では毎月避難訓練を行っています。火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに避難する方法や地震の時は机の下に隠れるなど繰り返し話し、実際に避難して訓練しています。ご家庭でも緊急時に備え話してみるとよいですね。

まだまだ残暑は続きますが夏の疲れが出やすい時期ですので、ゆっくりお風呂に入ったり、たっぷり睡眠をとるなどして体調を崩さないように気をつけましょう。

9月9日

救急の日



★家の中にも事故やけがを招く危険なものがたくさんあります。事故を防ぐために確認してみましょう。

- 子どもの手の届く場所に置いてはいけないもの。
(薬・洗剤・たばこ・ライター・ポット・炊飯器
・包丁などの刃物・針・子どもが飲みこめる大きさの細かい物など)
- 踏み台になるものはベランダに置かない
- コンセントなど、いたずらできないようにする。
- 遊び食べに注意する(食べ物が喉に詰まることがある)
- 浴室には子ども一人で勝手に入れないように工夫する。

風邪の後の登園について



発熱や風邪症状等で病院受診される際は

- ・登園してよいか
 - ・いつから登園可能か
- 医師に確認をお願いします。

病気によっては、医師記入による「意見書」または保護者記入による「登園届」が必要となります。

提出がない場合、当日のお預かりができません場合があります。

用紙は園でもお渡してできますが、ホームページからもダウンロードできます。

暑い時期もスキンケアをしましょう！

子どもは新陳代謝が活発でたくさん汗をかきます。その汗を拭いたり洗い流したりするたびに、肌を守るバリア機能が壊れてしまいます。皮脂の分泌も少なく、肌を守る機能が大人より弱い子どもたち。夏でも保湿剤を塗って補う必要があります。放っておくと、皮膚のトラブル(あせも、とびひ、水いぼがしやすいなど)にもつながります。

上手に日頃のケアしていきましょう。



汗をかいたらこまめにシャワーを浴びたり拭いたりしましょう。
石けんの使用は1日1回で十分です。
使い過ぎに注意！

お風呂上りは、タオルでしっかり体を拭きましょう。あせも等できている時は、上から優しく押さえて水気をとります。



お風呂上りやシャワー後20分以内がおすすめ。保湿ローションやクリームで保湿をしましょう。